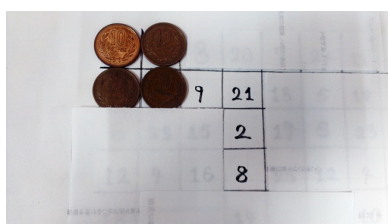


# 隠れた4つの数字

コインで隠した数字の合計を当てるマジックです。タネを考えてもらうことで脳トレ効果があります。  
このマジックは中盤～終盤に行く高齢者の方が見るにはレベルの高いマジックになります。



ジャンル 認知症予防 その他

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度3 所要時間 5分～

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 5人以上

道具 (一人当たり予算0円)

紙、ペン、コイン

注意点・追加ルール

期待効果 脳への刺激。参加する楽しさが得られる。

1 紙にコイン(10円玉や100円玉)を置いて、紙に書かれている4つの数字を見えなくします。  
その下の数字の合計の数を当てるマジックレクです。

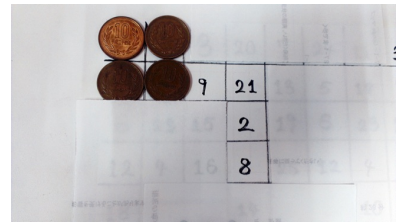
2 説明書と図の様式が別途PDFデータとしてあるので、参考にしながら作成するか、印刷してご利用ください。  
何故作成する必要があるかと言うと、コインの大きさによって文字サイズや紙のサイズを変更しなければならないのです。

3 4つの数字を隠せるならばコインでなく、特製の隠すものでもいいのですが、タネが道具と思われるので、できれば既存の10円玉等の使用をオススメします。

4 紙の解説をします。  
よく見ると書かれている上半分と下半分は内容が同じです。  
たくさん並べることでそうではないと錯覚させています。  
どの4つの数字を隠しても必ず合計値がわかるトリックがこの図表には含まれていません。

5

試しに一番左上の4つの数字を隠してみましょう。  
24, 11, 5, 17が隠れました。合計は【57】  
です。  
では次に隠した数字の一番右下の数「17」から右に  
2マス、そこから下に2マスのところを見ます。



6

「8」にたどり着いたと思います。ここでキーポイント！この8をある数字から引きま  
す。  
先ほどの合計が【57】でした...ということは  $57 + 8 = 【65】$

7

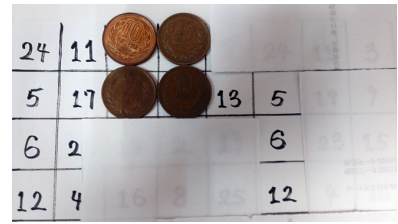
そうなんです、隠した4つの数字から2マス隣に進み、上の2つなら上へ、下の2つな  
ら下へ2マス進むと必ず同じ数字に行き当たります。端の数字も、隣や上下に同じ紙を  
置いとくとどうでしょう？4つの同じ数字に行き当たります。

8

その数字を【65】から引くことで合計値になるのです。  
探しに行く場所と【65】から引くことを覚えていれば必ず成功します。

9

先ほどの例題で出した4つの数字の隣の4つの数字を隠してみましょう。  
「3, 20, 9, 21」これらの合計は【53】です。



10

では【9】から左に2マス、下に2マス進んだ数値と【21】から右に2マス、下に2マス進んだ数字を見てください。どちらも【12】になったはずですが、これを先ほどの法則【65】から引くと【53】になります。

11

職員の方は目をつぶっている間に利用者さんにコインを置いてもらいましょう。  
難度やっても結果は変わりません。  
コインの大きさと数字の配置にだけお気を付けください。